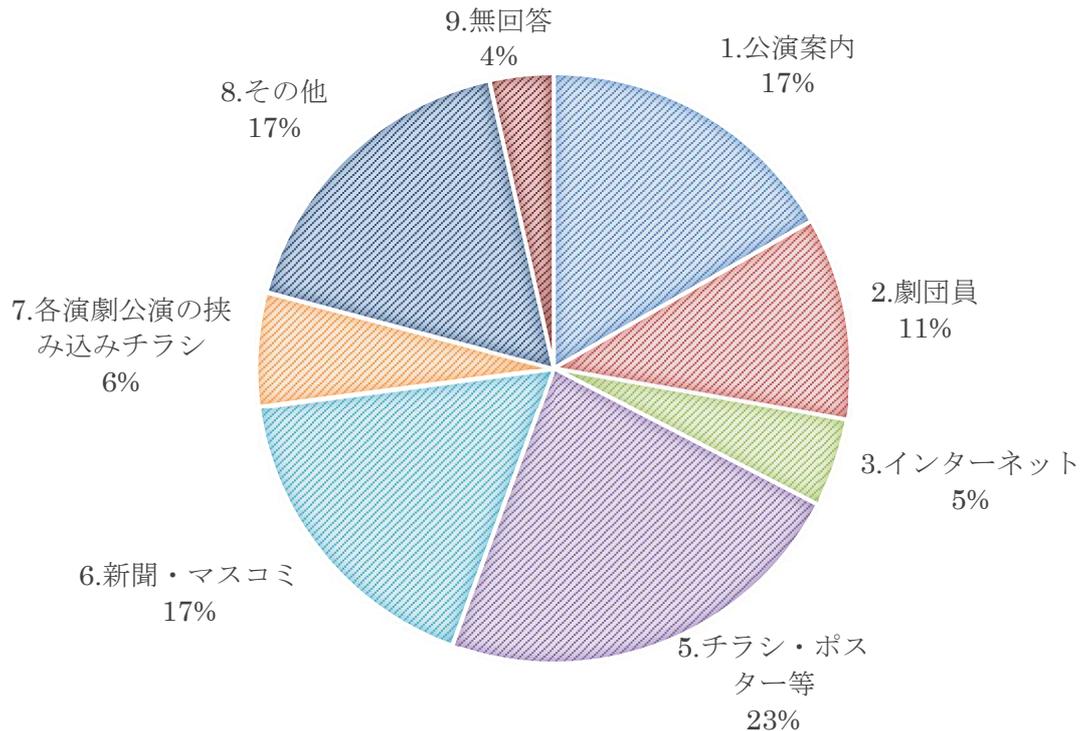


「桑楡の刻」とCCL アンケート結果

参加者	午前の部	参加者	282名	回答者	64名 (22.6%)
	午後の部	参加者	186名	回答者	51名 (18.0%)
	合計	参加者	468名	回答者	115名 (40.6%)

問1 講演を知ったきっかけ



問2 本公演についての御感想、御意見がありましたらお書きください。(印象に残った役者、シーンなど。よろしければ裏面もお使い下さい)

【午前の部】

- 医療・福祉関係者以外の方には、とても分かりやすい内容だったと思います。専門職としても「尊厳保持」に立ち返れる機会になりました。
- ケアマネージャーさんのキャラがとても良かったです！！
- 院長の総回診のシーンが面白かったです。「命の設計図」「あなたはあなたの食べた物で出来ている」続編希望します。
- 続編希望。片桐さん、また、釧路市民大学（まなぼっと）で芝居の話し etc 聞かせてください。
- 娘の名前「花」が私の次女の名前と同じでびっくりしました。夏の星空の三角も長女（夏）と話をしたことがありました。劇が身近に感じられました。改名の考え方は面白かったです。きっかけなんですネ。最期に食べたい物も、私は妻の味噌汁なので感動でした。まずは、元気なうちに、片付けようと思います。家薬（イエグスリ）も、発見でした。
- 続編希望。

- 続編希望。オープニング、クロージングの演出も良く、とても良い芝居で楽しめて、そして、勉強になりました。医療の仕事をしていながら知らないことが多くありました。最期の味噌汁もジーンときました。あんずの種に来てくれている人向けにも、ミニ勉強会をしてみたいと思います。院長も総婦長もステキ♡でした。終末医療に釧路がもっと役に立つようになりたいです。
- 一人ひとりの個性が出ていてとても良かった。在宅医療は家族に負担をかけるのではと考えていますが、再考を要する事だと思いました。
- 命のバトンをどう渡すか。イエグスリ。人生の最後に何を食べたいか。あなたはあなたの食べたもので出来ている。自分も改名しようと思いました。前回の公演の時とは、細かく台本が変わっていて良かったです。
- 演劇時間がちょうど良い。
- 山口さんが良かった。
- 続編お願いします。ラストシーンが良かった。
- 後編を作って下さる事を希望します。
- 続編希望。
- 3人の子どものシーン、院長の回診のシーンどれも分かりやすい内容でした。
- 考える良いきっかけになったと思います。ありがとうございます。
- ケアマネージャー！
- 大変良い体験をいたしました。続編も楽しみにしております。
- 知ることが大事だと思います。知った上でいろいろなサービスなどを選択していけたら良いと思うので、このように分かりやすくお示しただけのことはすばらしいです。
- 子どもが地方にいる場合は、親の世話をするのはとても大変ではないかと感じています。地方は特に大変だと思います。
- 続編希望。笑いもありながら、知らないことが学べるという演劇でとても面白かったです。
- 続編希望。父に感謝できる自分でいたいです。様々なケアの形があることは驚きました。ただ、医療費の高騰がある中、在宅医療の浸透をすべきです。
- 是非続編を観たい。
- 家薬〜良い言葉です。今、まさに父は全身ガンに侵されています。通院医療で今は家に居るのですが、いつどうなるか分からない状態です。母は病院に入院中なので、今回のこのお芝居は私にとって、とても、深く、考えさせられる感動的なものでした。ありがとうございました。♡続編希望♡
- 色々、改めて考えさせられました。
- 杉元先生、名演でした。家族で早めに話し合っていくことが必要だと思いました。・副院長のセリフにいろいろなメッセージが込められていると思いました。・在宅でのシーンもあれば良かったかと思います。・皆さん、忙しい中、練習など大変かと思いますが、今後もまた違った演題で観てみたいです。お話を聞くよりも劇で見せていただくと一般市民の方も興味深く観られると思います。出演された皆さんに拍手です。
- 色々参考になりました。
- 院長先生良かったです！ 続編が観たいです。

- 在宅介護と病院の線引きはどこなんだろうと思った。例えば食欲が落ちて病院で点滴を受けるともうアウトでしょうか？患者に元気になってもらう為にも家でという選択が可能なのか？そういう疑問に答えてくれる所はあるのかな？
- 在宅で看取られる時の家族の負担、問題点があると思います。そのことも知ることができたら・・・。45分は短いと思いました（とても演技が良かったので）
- お父さん、医師のこれからについてそういうことを笑いを含めてお話ができていることが身近に感じた。人生の最期を選択できる事は良いことだと感じました。父の存在は大切なのに、ぞんざいに扱われてしまう中、父の大切さを考えさせられました。
- 同感です。
- みなさん、劇でなく現実的な取り組みに感じました。是非「続・・・」を！！
- この劇が”桑榆の刻”について考える切り口になりました。私にはまだ早いなと考えていましたが、自分だけの話しでなく父母、祖父母と、もしもの時を考えることも自分と相手の桑榆の刻について関わる事になるのだと思いました。その人らしく生きる、どれだけこの言葉が大きい存在か患者さんにとっての希望かと思いました。また、「家ぐすり」どんな薬よりも副作用がなく飲みやすい。患者さんが在宅で迷っていたら、とても大きな後押しになると思いました。私もこの言葉が心に残っています。テンポが良く面白くありながら、メッセージ性があり感動もある。とても面白い劇でした。続きが楽しみです。
- とても楽しかったです。私は主人を2年余りの闘病の末に1か月、実父は99歳まで一緒に生活をして2週間ほどを共に在宅で看取りました。2人とも、人生会議をした訳ではなく、家で死にたいと希望してのことでした。今があるのは当たり前のことではないという事を知りました。感謝の日々を過ごしています。私はこれからじっくり考えていこうと思います。
- 皆さんの演技力にまず魅かれました。心に入るそして笑いありでも大事なところも含まれている、脚本にも45分という演技の中に入りこみました。何を糸口にするか・・・そのきっかけをいただきました。印象に残った役者は院長先生でしょうか。生きがいを全うする。すぐステキな事だと。生きがいになるものを見つけると共に、親の生きがいは何なのか聞いてみるのも一つだなと。印象に残ったシーンは、”最期に何を食べたいか”という場面。舞台の演出もすてきでした。ありがとうございました。
- 院長
- ためになりました。在宅につきましても家族の人数とかどのように対応していけば良いのか？
- 続編希望。こういう医療もあるのだと参考になった。
- 熱演お疲れ様でした。釧路にはたくさん演劇団体があるんですね。感心しました。小生、札幌と東京で役者をしていました。
- スライドで色々な紹介があり、良く分かり、良かったです。これを知らない人が多いので、これからもこのことをアケマチで発信してください。
- 急には思いつきませんが、家に帰って家族でゆっくり話し合いたいと思いました。
- 演技の素晴らしさは練習の成果と思う。熱演に感心しました。
- 感動しました。とても立派な公演でぜひとも釧路だけではなく広げて頂きたいと思いました。続編期待しています。

- 杉元先生・・・診察室とは違った一面が見えました。桑楡の時をどの様に迎えていくか良いきっかけになりました。役者の皆さんとてもよく演じられておりました。本気が伝わりました。
- 大変良く実感をしました。ありがとうございました。
- 現在の年齢から死について考えなければなりません、考えていないし、家族と相談もしていません。今日、創作劇を観て考えさせられました。良く演じていました。今後の活躍を一。
- 最後の3人の花ちゃんとお母さん、お父さんが一緒になるシーンが素敵な演出だと思いました。
- 時間的にも内容的にもスマートでとても良かったです。
- 本市演劇界の重鎮が総出演という豪華さにとても面白く観ることができました。片桐さん、潤子さん、杉元先生、本当にお疲れ様でした。
- 皆さん大変に元気が良く勉強になりました。もう少し色々聞きたかったです。自分も年なので考えてみます。本当にためになりました。皆さんありがとうございました。
- この公演を見て、今後家族と話し合いが必要だと思いました。ケアマネージャーの杉元先生良かったです。すばらしい。演劇感動しました。続編期待しております。
- 笑いがあって面白かった。
- 続編希望
- 究極の急性期に勤務している身としても、桑楡の刻をご家族で話し合いを持ち、改めて自己決定権を行使できる世の中になって欲しいと思いました。在宅医療を受けられている方々と救急搬送・・・難しい問題です。法的に解決すべき問題でもないように思いますし・・・。
- 各シーンともすばらしい。役者さんたちみんなすばらしかったです。アートホールで観た時よりもだんだんよくなってます。ストーリーがすばらしい。ありがとう。
- 人生の中で死と向き合う事の大切さは、まだ、分からないけれど、これから先、結婚して子どもがいて家庭があって考えられるのかなーと思います。「家ぐすり」初めて聞いた言葉です。考えなければ??杉元先生の声が会場に響き渡りました。皆様、お疲れ様でした。続編が観たいです。
- 一度、公演拝見したかったです。義母を12年介護し最期の年は、施設をお願いをしました。私が体を悪くしたので自宅介護はいろいろ考えさせられました。

【午後の部】

- ぜひ、続編希望！役者の皆さん素晴らしかったですね。特に永田大先生の3パターン。感動でした。娘を持つ身としてそんな育て方をしてきたか、考えさせられましたがそれなりにですね。まあ、私は「長さん」だと思います。しかし、やはり自宅で桑楡の刻を迎えたいですね。
- 年齢的に終活について考えるところですが、難しいですね。私は最期に永ちゃんの「I love you ok」を聴きながらうめぼしのおにぎりが食べたい。
- 笑いあり、名言ありで良かったです。再演楽しみにしています。
- 我が家でも母を送ったのが3年前で在宅デイサービス、高齢者下宿など、様々なサービスを利用して送りましたが、一番考えさせられました。次回、公演で続編を創作される折には、

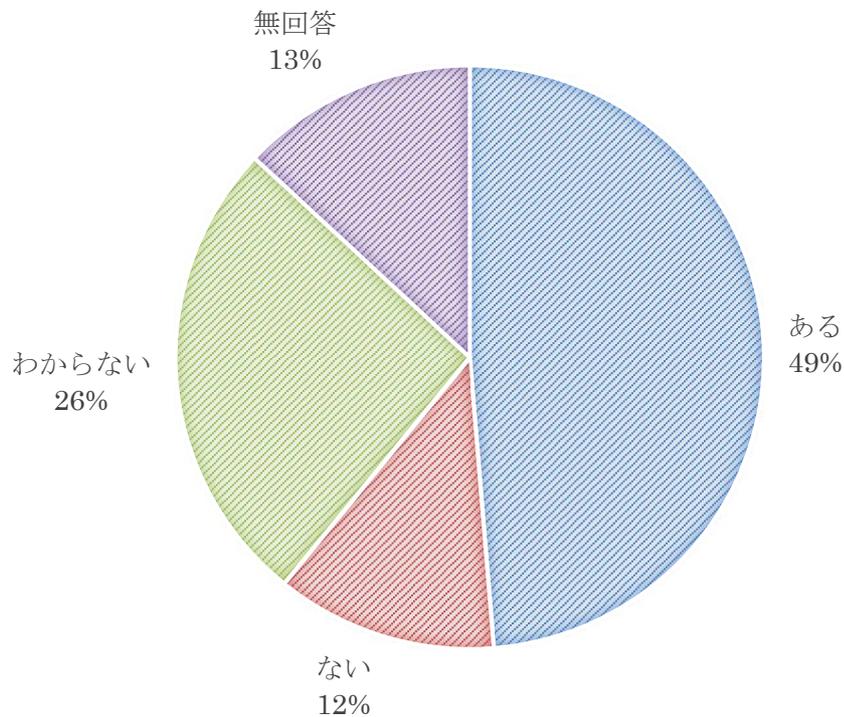
医療をどこで切るかの決断の場面が出るかと思います。期待しております。

- 私は 70 歳を迎える年代ですが、息子 2 人とは最期の迎え方を話しています。必ず死は待っていますヨネ。息子に迷惑をかけない死を迎えたいと思います。まず、ボケないこと！！それが目標です。
- 片桐さんの演技はだいぶ大昔の東風で観たことはありました。2019 年 2 月釧路市立図書館で桜木志乃さんとのトーク物ともに聴講しておりました。2018 年 8 月に父（81 歳）が急な心臓停止で先に亡くなり、2019 年 1 月下旬に同居していた 3 歳年上の 50 代前半の兄も脳出血で急逝したばかりでして、今現在たった一人で暮らしています。兄も私もシングル（単身者）でしたが、実父の死からたった 1 年半たらずで兄も亡くなり、もう家族は誰もおりません。今後一人での生活をどうやっていこうかと悩みと探し途中でもありました。家の処分やら、なんやらと一人でやらなくてはならぬことも多々あるが、どうにか一人でも暮らしていければとも思います。私自身は他人との暮らしよりも一人のほうが良いので、今後おそらく一人で生きていくかなと。歳を追うごとに身体の不調や何らかの病気にかかるかも知れぬが何とかやっていければと思う。自身の人生の終わり方等についてはともかく無病でありたい。亡くなった父は、高齢でも亡くなる最期まで自営業の仕事を続けていました。歳とともにやはり、弱っている点もあったが、介護・ケア等のサービスは殆ど受けていませんでした。ただ、途中で体調を崩しベッドに横になってから起き上がれず、水も食事も受け付けず、吐き気と下痢が続き 10～11 日で急逝しました。倒れる前日までピンピンしていたので急な亡くなり方に茫然としておりました。自分の時には安らかに逝ければなと思います。ちなみに、最期に食べたい物は桃とおにぎりかな。まだ、ひとりになったばかりなので淋しさに慣れぬがなんとかやっていければと思う。人生の締めくくりについての話し合いは、母は私が 20 代になって間もなく亡くなった。以下、父と兄、私の 3 人での暮らしが長かったのでなんとも言いかねる。
- 3 人の花が父に寄り添うシーンが絵になっていた。個人的には「たくさん話したいことがあった」というメッセージは弱いように感じた。婚活、終活、就活と焦点が散漫になっている気がしました。が、続編、父が死ぬシーンも観てみたいです。
- とても良いストーリーで、また、是非観たいです。
- ところどころで笑いを取りながらも大切な言いづらい事を話し合う所はとても良かった。心に響きました。是非、続編を！！
- 再演 希望
- とても感動しました。ぜひ、続編を・・・
- ” どう生きるか・・・ ” 病院（施設）で亡くなる事が必ずしも不幸ではない事もあると思うのですが・・・
- 非常にわかりやすく最期の刻を迎えるに当たり考えることの大切さが伝わってきました。演劇という手法で一般の方に伝えていくというのは片桐さんもお話をしていましたが、素晴らしいことだと思います。人生会議、桑楡の刻を迎える家族の様子、迎えた時、その後の事・・・続編期待しています。
- 再演をよろしく。
- 家葉 人間は食べたもので出来ている。続編は観てみたいです。

- 在宅医療は様々な考え方があり、自分の時で思い出してみても、例え同居でも共働きで親の面倒が見られず、高齢者住宅のお世話になりました。今回のお芝居では、杉元先生が友情出演ということでしたが、ガッツリ出てましたね。とても上手ですね。すてきです。
- 「最期に何を食べたい？」が印象に残りました。
- ありがとうございます。続編楽しみにしております。
- よかったです。
- 本人の意思決定を尊重する事が大切だと気がつきましたが、本人との話すタイミングが難しく思われた。
- 的を得た内容を、人を引き付ける演劇という手段で表現し観ている者に熱く面白く、しみじみと伝わって来ました。最後のトークの所でも、更に深く内容を伝えてくださったと思います。プロの演劇よりもコミカルでしっかり伝わってくる物があって再演は観たいです。脚本をゆっくり読ませてもらい、作者の気持ちに触れたいと思います。
- 家族の最期を看取ったことがないので、いろいろ考えられました。
- 終わりのとき（刻）はいつかくる。もっともっとお父さん（お母さん）と話そう。
- 再演希望。続編希望。
- 院長
- 再演希望します。
- コミュニケーションの大切さを思いました。私は今、67歳の女性です。私の母は約10年、義父は約15年の長きに渡って病院等に預かってもらい、そして、看取って来ました。今回の劇を通して家で最期と出来なかった残念な気持ちと、その時はそれしか出来なかったと言いつつ、今会場で家で最期を迎えられたらそれが一番の幸せだと思います。何かを考えさせてくれる芝居をこれからも公演して行ってください。*杉元先生は大学生に見えた。
- 沢田副院長のセリフには共感できるものがありました。たぶん自分が日々死に行く方々と触れ合っているからかも知れません。演劇が市民にメッセージを伝える力に期待しています。ユーモアとペーススが散りばめられた素敵な劇をありがとうございました。あえてひとつだけ意見を申し上げると寺山一郎さんがお元気すぎて死の影がみえないのは、そういう制作意図と納得することにします。
- 人生会議を話し合うきっかけになりますが、問題は家に帰ってから・・・？色々なサービスが充実していないときれいごとではなく、家族が大変！！ぜひ、続編が観たいです。杉元先生すばらしいー。
- 続編を期待！！
- ケアマネージャーさんが良い演技であった。大変面白い先生だ。この様な先生に在宅医療を診てもらえれば終活も楽しいものになるのではないか。「家薬」→初めて聞いた言葉です。意味深いです。実際は激しい家族との「葛藤」が生じるのではないか。家族同士の争いを芝居で観たい。
- 続編を期待しています。
- 家ぐすり。いい言葉ですね。
- 素直な気持ちで鑑賞できました。面白く、感動し、考えさせられました。この後の続き（続編）も期待致します。

- 医療関係者が出演者なのもユニークで楽しかったです。「桑楡」というタイトルもすばらしい。どなたが考えたのでしょうか。誰もが普通の終活について判りやすく共感しました。演劇の終了後のシンポジウムの開催、さすが演劇協議会ですね。機会がありましたら又、老人問題を扱った演劇を開催して下さい。
- 楽しい演劇でした。とてもこれからの生きて行くために役立つお芝居でした。
- 仲間や家族、医療関係者みんなで”終活”の話しをはじめた所。・娘さんが小学生から大人になるまでの回想からお父さんの傍へ行ったシーン。・自分も父を亡くしたのですが、本当になぜ話しができなかったんだろう”と介護の仕事についていながら自分の家族と話せなかったこと、今でも悔いています。なので、これからも学びつづけながら今、関わっている方、これから関わる方へ、相手の方へ負担のない範囲で伝えていきたいと思います。生まれたからには亡くなる時が来ます。この桑楡の刻をもっと釧路管内で他の町村でも見てもらいたい人がたくさんいます。→いると思います。*続編が観たいです！！
- 続編希望します。すごく良かったです。
- 続編を希望。人生会議について。
- 美しくない方の家族の様子も盛り込んでほしいです。どこか他人事ですし、自分の親はこんな風にはならないという思いを持つ方がいらっしゃると思います。介護職としては、皆さんがこのように前向きに、穏やかに人生を見つめてくださるととってもありがたいと思います。情報を提供していく側であることを改めて感じました。ありがとうございました。
- 印象に残った言葉として「家薬」！現在は家庭内でも会話があまりない・・・。さびしい家庭もあります。そうならないように私の家では家族がいて安らげる、まさしく家薬となるような関係を大切にしたいと思いました。 星さん！多才ですね！！ 杉元先生！！益々 役者！！ 続編を楽しみにしています！
- 最期を迎える時（場所）、自宅、病院どちらでも幸福とは言えない。また、不幸とも言えないと思う。出来る事なら癌（末期ステージⅣ）で発見される事を望みます。
- 大変為になりました。杉元先生2投流ご苦労様です。続編希望。
- 大変良いお芝居でした。参考になりました。

問3 ご自身の人生の締めくくり（桑楡の刻）について、ご家族等や医療・ケア関係者と話し合ったことがありますか。



問4 本日の公演を通して、ご自身の人生の締めくくり（桑楡の刻）について、変化しましたか。「①ある」と回答された方は、その変化について教えてください。

【午前の部】

- 家族で話し合ってみたいと思いました。
- 元気なうちに整理しなければと思いました。
- いつ自分が亡くなるかは、誰にも分からない。そのための準備は今からもっと進めようと思いました。
- 「人生会議が如何に必要か」と痛感しました。
- 最期の時を本人らしく生かせる為の対応を早く始めなければならないと再認識しました。
- 自身もそうですが、高齢の家族がいるので機会をみつけては、ぼんやり話していますが、きちんとその場を設けようと考えます。
- 必要性。
- 人生会議を開いてみます。
- 死んで生き方ではなく、生きて行き方と意識が変わった。
- さらに具体的に在宅ケアについて前進したい。
- 家で介護をするのは周りの人々の協力なしでは出来ないという事を感じた。
- まず考えようと思うようになった。
- 話し合うのは元気な時という実感を得た。
- 父とよく話し合ってみます。

- 親の介護も進行中の身、親や自分の事も含めてやがて来る人生の終わりについて他人任せではいけないと思います。折に触れ子どもたちと会話をしていこうと思います。
- 母親（90歳）と話し合ってみようと思いました。
- 父が点滴のみで入院しています。考える所、沢山ありました。
- 高齢者の仲間入りをしたのだから”終活”にしっかり取り組んでいかなければと思います。
- 自分も年なのでもう少し積極的に情報収集をしたほうが良いと感じた。
- 更に続けよう・・・
- 日頃から、話題にして触れていきたい。
- 考えさせられました。身近に思っている。
- 家族と話す。
- 90歳の母とのことを考える。
- 自分の人生の締めくくりをゆっくり考えてみようと思いました。
- 真剣に桑楡の刻を考えてみる事にします。
- 在宅医療を妻に望んでいるが、どこか？解らない。認知症の看護は難しく悩みが多い。
- しばらく会っていない父と桑楡の刻をどのように迎えていくか話してみようと思います。
- 年齢的に機会があれば、家族で話を進めること。自身の考えを具体的に書く事から始める。
- 考える時間が必要だと思いました。
- 呑気にしてられない。
- 自分の事としては、まだかな？親がそうゆう年なので話し合ってみようかと考えました。

【午後の部】

- 第4の人生で名前を変えようかも良いかも。
- 家族を見送っている私も50歳を超えたので。
- 意思を伝える手段を考えたい。・不要な物を捨てたい。・家族に改めて考えを聞きたい。・若くても障害を負う事もある。事故の後遺症を持つ人生になるかも。意思を伝える術が突然奪われるかもしれない。
- 家族と話し合ってみたいと思いました。
- 高齢の元気な両親なので、まだまだ先とっていましたが、元気なうちにその時の事を色々話し合うべきだと感じた。
- 少しずつ家族と話をしたい。
- 劇が最期を迎えた時、涙がこぼれました。この事を癌を患っている私の家族に話し、人生会議をしたいと思いました。きっかけを頂きました。
- 終活ではなく人生をどう生きるか、どう過ごすか。
- 義母の最期の時の事を思い出しました。
- 「生きる」事をもっと改めて受け止めて意識して行動したいと思います。
- 父が在宅支援を受け、ケアマネージャーの方をはじめ、たくさんの方々に大変お世話になり感謝しております。
- 最期の食事から考えてみたいと思います。
- 自分の意思を伝える事の必要性

- 家族で話し合いたいと考えた。
- その時に最良の方法を、家族と共に話し合っていきたいと思います。
- 必ず来るであろうその時を元気なうちに、自分の意思を明確にしておく事の大事さを改めて思い知らされた。
- もっと家族で話し合いをしなければ～。
- 友人と常日頃話し合ってはいますが、何となく不安感だけでしたが（専門家のお話を聞かせて頂き）参考にさせて頂きました。”自分らしく”難しいことです。
- 自分のためにも、家族のためにも、前向きにざっくばらんに話したいと思いました。
- もっと詳しく、または楽しみを持って今後の人生や桑榆の刻を話し合いたいと思います。
- 夫が膵臓癌OP後4年経過、今は元気にはしておりますが、5年生存率が5%とのこと。最低これからの1年をまず目標に夫らしく、更にそれ以降を目指したい。